

剰余金について

1 平成 23 年度剰余金の額

376,594,087 円

2 23 年度の剰余金について (※以下、金額は対予算比)

平成 23 年度の剰余金は、センター病院における診療収益の増収、委託契約仕様の見直し等によるコスト削減、外部資金獲得などの自己収入の増加などにより生み出されています。

23 年度における、具体的な取組としては、

- ・センター病院において、**外来単価の増や精神科入院料 1 (スーパー救急) の取得等による附属病院収益の増** (+約 5.2 億円) が、患者数の増等により増加した**医薬材料費** (+約 3.5 億円) を上回ったことによる**増** (+約 1.7 億円)
- ・**入学検定料、入学金、授業料等の学費収入の増** (+約 0.7 億円)
- ・IT・システム関連業務に係る**委託仕様の見直し等における経費節減** (▲約 1.1 億円)
- ・イノベーションシステム整備事業など**外部資金の獲得により間接経費収入が増額**となり、**大学自己収入で対応していた光熱水費等の管理経費の負担軽減** (▲約 0.9 億円)
- ・維持管理運營業務等に係る**一般競争入札の実施における入札残** (▲約 0.7 億円) 等

教員、職員それぞれの取組が実を結んだ結果、生み出された剰余金であり、法人の経営努力から生じたものと考えております。

なお、上記剰余金については、本学が速やかに対応する必要がある、**教育、研究及び診療の質の向上並びに組織運営の改善の取組**に活用したいと考えております。